

広南学園 道徳研究通信

令和5年10月11日

NO. 03

10月2日（月）に小中合同研修会3回目の授業研究を行いました。今回は「みんなのものを大切に
するプロジェクト」実施により、日常の中から課題意識をもたせ、子ども達に自分事として考えさせる
ような単元を仕組んでいました。また、役割演技を通して感じたことや考えたことを表現させていまし
た。名賀先生、提案ありがとうございました。

令和5年10月2日（月）第6校時 第3学年 名賀春佳教諭、山崎聖子教諭

【主題名】 みんなの使う物 【内容項目】 C11 規則の尊重

【教材名】 「黄色いかさ」 【出典】 東京書籍

みんなが使うものが大切
に使われてないのはなぜ
だろう？

【授業者より】

- 本時の教材は子どもの実態に合った教材であり、子ども達が自分の生活を見つめ直すことができるという点と考え、他教科との関連をもたせた単元作り「みんなのものを大切に
するプロジェクト」を仕組み、一つずつ活動の目標を確認したり振り返りをしたりしながら取り組んできました。
- きまりを守ることに、きまりが守れていないというマイナスのイメージよりも、やって良かったというプラスのイメージをもてるように意識した。
- このプロジェクトについて、授業の中でどのようにふれると良かったか、役割演技でどのように問い返し、子どもの表現を引き出したら良かったか教えていただきたい。

【協議会より】

<導入>

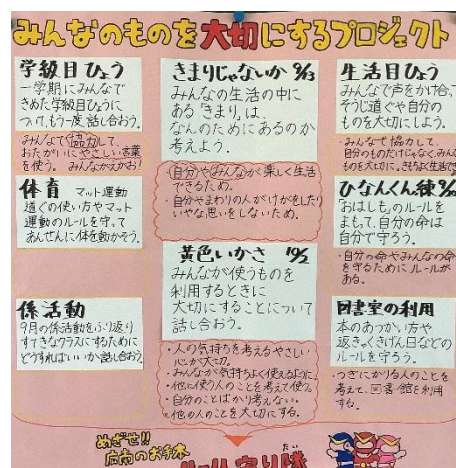
- ◎事前アンケートを活用し、「みんなが使う物」にはどんなものがあるのか、「みんなが使うものがあって良かったことや困ったこと」を提示したりすることで、今日のめあてを意識しやすかった。
- ◎写真を提示し、「みんなが使うもの」が大切にされていないという課題を身近な生活から捉えさせることで、解決しなければと思えた。

<資料提示>

- 挿絵の横に内容をまとめた言葉があったので考えやすかった。
- 教科書を見せない場合、キーワードや短い文などの補足があるともっと理解しやすい。

<役割演技>

- 主人公（大助）の立場に立って考えることができた。
- せっかく良いことを言っているのに、声が小さくて聞こえにくかったのが残念。演技をする人だけでなく、みんなに向けて演技できるといい。



- 役割演技のやりとり後、「見ていてどう思った？」など、やった子だけではなく見ている子に感想を聞くなどして全体を巻き込むと良いのではないか。
- 「走って行った」という設定だったので、帰ってきた場面「どうして傘を持ってきてくれたの？」から始めても良かったのではないか。
- 書かせた後に役割演技をすることにどんな目的があるのか疑問に思った。
- 「何が悪かったの？」という切り返しにより、他の人が困るという視点が出てきた。
- おばあさんと大助の両方の役割演技をすることでおばあさんの気持ちも考えることができた。



<交流>

- 「〇〇くんと少し似ていて…」 「少し違います」など他者の意見と比べながら発表をすることができていた。
- 自分の意見が持てない児童もいた。
- 他者の考えから自分の考えの変化が見られるとよい。

<ふりかえり>

- 「これからは本の返却期限を守りたい」「家のポストにゴミを入れないようにする」など、自分の生活をふりかえることができていた。
- ◎子どもの良いところを紹介することで、子ども達は誇らしい表情になり、温かい雰囲気の中で価値づけることができた。

<その他>

- 先生の物を大切にさせたいという思いがうまくつながっていた。
- 質問なのか発問なのかはっきりさせる。

【指導助言】

○西部教育事務所 南角 明指導主事より

- 教材と児童の実態から、同じ規則尊重であっても前回の教材と今回の教材で気付かせたいねらいとする価値の違いを明確にもって授業をしていた。
- 役割演技をするときは、「なんでこの子はこう言ったのだと思う？」「みんなはどう思う？」など全体を巻き込み、全体の学びになるようにするとよい。また、一人目と二人目で聞くことを変えるなど同じようなやりとりにならないようにする。また、「よーいスタート」などかけ声があるとその気になる。

○広島県教育委員会 藤井善貴指導主事より

- 「どうして面倒なの？」「わかっていたのなんで返さないの？」こういった切り返しは大切である。
- 「みんなのものを大切にするプロジェクト」により、子どもに対する声かけが変わり、児童とともに学んだことを共有することができる。導入場面でこれを提示し、確認するのもよい。
- 今後は、地域人材の活用、地域の素材、学校・家庭・地域の連携にも取り組んでほしい。
- 今回の授業で、役割演技、プロジェクトの実施など前回とは違う研究としての発展が見られた。こうした取組を積み重ね実践してほしい。